

普及員に感謝

株式会社河岡農園 代表取締役社長 河岡 誠

僕は普及員に、農業大学校での栽培技術指導から、就農への支援まで色々とお世話になりました。就農してから、現在の経営規模になるまで、その時々で沢山の技術を教わりました。

収穫中の圃場に来ていただいた時、直ぐにこの圃場でセンチュウ害が出ていることを教えてくれました。その後、土壌消毒の散布をする時も、機械の使い方、薬剤の散布適期などを丁寧に教えてくれました。この土壌消毒がきっかけで、圃場の消毒と、土作りに興味がわいて色々勉強をしました。この時の指導があったから、最近の異常気象にも耐えることのできる圃場準備が出来ていると思います。



鳥取県農村青年会議を紹介してくれたのも普及員でした。この青年会議には同じような年代で、同じような悩みを持った青年が沢山集まります。メンバーで話し合うことで分かった課題の解決に必要な情報なども提供してくれました。この青年会議の運営自体にも協力してもらっています。

法人化をしてからも変わらず、栽培技術の指導を受けていて、それが大変役に立っています。法人化をして規模を拡大していくと、沢山の従業員さんに支えられていることが分かります。それにつれて責任も大きくなってきていて、今までとは違う問題も出てきます。成功は河岡農園に携わる人すべてのおかげですが、失敗の責任は、最終的には僕に来ます。失敗をしないように作業の効率化や、人材育成などが必要です。その解決のアドバイスも沢山してくれます。なによりも、感謝をしているのは、指導に来られた時に、ただそこで話を聞いてくれる事です。仕事に忙殺されそうな時に会った時、親身に話を聞いてくれる、それがリラックスにつながるし、その中から突然問題解決につながる話が出たりします。本当に感謝をしています。

僕たち生産者は就農希望者の研修を受け入れます。研修中は沢山の技術を惜しみなく教えます。しかしその後、就農する時は、生産者と研修生だけでは、補助金などの手続きがたくさんあってスムーズに申請が出来ません。その時に普及員がいて、JAや市役所など、地域との連携をとって、就農手続きをアドバイスしてくれることでスムーズに就農ができます。その関係が出来上がっているから、僕たち生産者も、また次の研修生を受け入れることが出来ます。

鳥取県の農業生産を上げていくには、既存の生産者の収量の増加、規模拡大の支援、また新規就農者の安定経営から規模拡大まで沢山の課題があります。普及員と生産者で互いに協力し合って、鳥取県の農業生産額1000億円を達成したいです。

これからも変わらない支援・指導をよろしくお願いします。